

骨粗鬆症マネージャー認定試験見本問題

(問題数 5 問)

「骨粗鬆症の疫学」に関する問題	選択肢	解答	備考(解説)
日本における骨粗鬆症患者の割合で正しいのはどれか	1. 10,000 人に一人 2. 1,000 人に一人 3. 100 人に一人 4. 10 人に一人 5. 5 人に一人	4	日本での骨粗鬆症有病者数は男性 300 万人、女性 980 万人と言われており、合計 1,280 万人と日本の人口の約 10 人に一人が骨粗鬆症に罹患している計算になる

「検診・リスク評価・FRAX」に関する問題	選択肢	解答	備考(解説)
FRAX で何年間の骨折確率を推定できるか	1. 5 年間 2. 10 年間 3. 15 年間 4. 20 年間 5. 25 年間	2	1. 10 年間の骨折確率を推定できる。 2. ○ 3. 骨折確率 15%以上では、薬物療法を検討する必要がある。 4. 3 ヶ月以上、プレドニン 5mg/日以上以上の服用はリスク因子となる。 5. 関節リウマチの合併はリスク因子として加味される。

「栄養」に関する問題	選択肢	解答	備考(解説)
納豆に多く含まれるのはどれか	1. ビタミン A 2. ビタミン C 3. ビタミン D 4. ビタミン E 5. ビタミン K	5	納豆は、タンパク質、ビタミンK、植物性エストロゲンの宝庫である。

「薬剤」に関する問題	選択肢	解答	備考(解説)
骨粗鬆症治療薬として <u>誤っている</u> のはどれか	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活性型ビタミン D₃製剤 2. ビスホスホネート薬 3. 選択的エストロゲン受容体モジュレーター (SERM) 薬 4. 副甲状腺ホルモン製剤 5. ヒアルロン酸薬 	5	<p>骨粗鬆症の治療薬には、骨形成を促進する副甲状腺ホルモン製剤、骨吸収を抑制するビスホスホネート薬、選択的エストロゲン受容体モジュレーター (SERM) 薬、抗 RANKL 抗体 (2011 年版ガイドライン未収載)、栄養素のバランスを調整するカルシウム薬、活性型ビタミン D₃製剤、ビタミン K 薬がある。カルシトニン薬は、現在主に疼痛緩和を目的に使用される。</p> <p>ヒアルロン酸薬は骨粗鬆症の治療薬ではない。</p>

「OLS と骨粗鬆症マネージャー」に関する問題	選択肢	解答	備考(解説)
骨粗鬆症マネージャーの役割として正しいのはどれか	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病理診断 2. 医療費削減 3. 在庫整理 4. 地域連携 5. 機器補修 	4	<p>骨粗しょう症マネージャーは、多職種間、他施設間での連携 (リエゾン) の中心的役割をになう。</p>